

しており、わずかではあります。5年ぶりに観光客の減少に歯止めが掛かりました。また、島内の宿泊者数の目安としている観光旅館に宿泊した延宿泊者数は、約29万人と約6%の伸びを示しました。ここ数年取り組んできた「滞在時間の延長」は、島内での旅行消費額の増大につながるから、今後も推進する必要があります。佐渡観光交流機構と連携し、観光ニーズを分析するとともに地域住民との協働による観光地域づくりを推進し、何度も訪れたくなる島になる必要があります。

現在、会員数1万6千人を有する「さどまる倶楽部」については、佐渡観光交流機構と連携し、会員特典の付加価値を高めることで2020年度に会員数を3万人に増加させることを目標としています。この「さどまる倶楽部」の会員カードに電子マネー機能を組み込み、「地域通貨」の導入を進めることで佐渡観光の入込み数の増加に結びつけるとともに、獲得できる属性データを活用し、受入体制の強化や新規商品開発につなげていきたいと考えています。

(2)世界遺産登録に向けた受入体制の強化

佐渡金銀山の世界遺産登録に向け、この推薦決定までの一定期間を前向きにとらえ、さらなる推薦書原案の

ブラッシュアップを行うとともに、将来のイコモス現地審査やユネスコ世界遺産委員会での審議にも対応できるように、万全な準備を進めます。

本年4月には、佐渡金銀山のもつ価値や魅力をわかりやすく解説し、現地に残る資産を訪ねるための拠点となるガイダンス施設「きらりうむ佐渡」が開館します。これを契機に世界遺産登録後の受入体制の強化を目指し、関連機関等の協働により、相川の町と来訪者をつなぐさまざまな取り組みを行い、歴史と文化を活



4月20日オープンの「きらりうむ佐渡」

かした「鉾山町あいかわ」のまちづくりを目指します。

(3)文化・芸術・スポーツの活用

昨年7月に発足した佐渡文化財団と連携し、伝統文化等の「継承」「活用」「情報発信」の取り組みを促進します。

本市は、ロングライドやトライアスロンをはじめとしたスポーツイベントでは、聖地に近いイメージを抱いて下さる人も多くいらっしゃいます。この地域のイメージを活かすとともに多様化し、深化している顧客ニーズに対し、テーマ性を意識したスポーツと地域の特色が感じられる仕組みを構築し、さらなるイメージアップに取り組みます。

産業の振興

農業経営の多角化や効率化による収益性の向上を目指すとともに、これまで取り組んできた地消の充実と地産の拡大をさらに推進し、島内の経済循環の仕組みを確立します。

人口減少等により不足している担い手不足対策として、特に高齢化が著しい水産業の相談窓口機能の充実などに取り組みとともに、地域社会維持推進交付金を最大限活用し、一

次産業を含めた佐渡の地場産業の雇用確保に努めます。

また、佐渡の各エリアの特色を生かした産業振興策を次期将来ビジョンと併せて策定します。

(1)地消の充実と地産の拡大

地産地消推進計画に基づいた生産および消費拡大の取り組みにより、佐渡産農産物の直売所における取扱高は年々増加し、5年前と比較すると約70%の伸び率で、島内での地産地消運動の広がりとともに、価格だけでなく品質や安全・安心を重視する消費市場の需要が高まっているものと考えています。

しかし、佐渡産農林水産物の需給調整や生産・流通・消費の仕組みはまだ十分に整っていないと言えないことから、地消の充実と地産の拡大に繋げるため、農産物等の需給のマッチングや流通を一体的に行う地域商社の設立を目指します。

(2)雇用の受皿、担い手の確保

農業の新たな担い手を確保・育成するとともに、企業の農業参入等により、多様な担い手を確保していくことが急務となっています。UITA希望者等の移住就農の促進、経営発展に向けたスキルアップへの